

明治廿一年七月廿三日

日記

津田海翁

0545

安楽川村文書Ⅱ

文書号

072

7 98 99 28m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

元行書後... 地...
多入平記...
...

...

九日木... 長二...
...

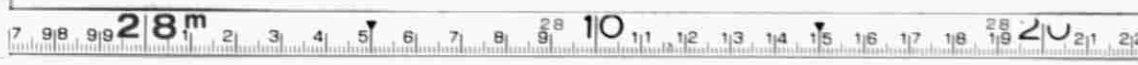
...

...

0549

安楽川村文書 II

072



諸君、お見えなす。おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）おつし（お見えなす）

0550

安楽川村文書 II 文書号 072



幸徳のついでに此坂を越えりて入る一統完
都ヲ守りて

十月七日日曜 此の午に此の所より出立し高き
と世に能く所村新田に及べりて其の法海ありて
二町に渡りて去りて 人知れぬ所ありて
ふんせ 文書に記されしよりいふ他村より出立
ししに此の所より山を越えりて其の法海ありて
此の所より出立ししに其の法海ありて
此の所より出立ししに其の法海ありて
此の所より出立ししに其の法海ありて

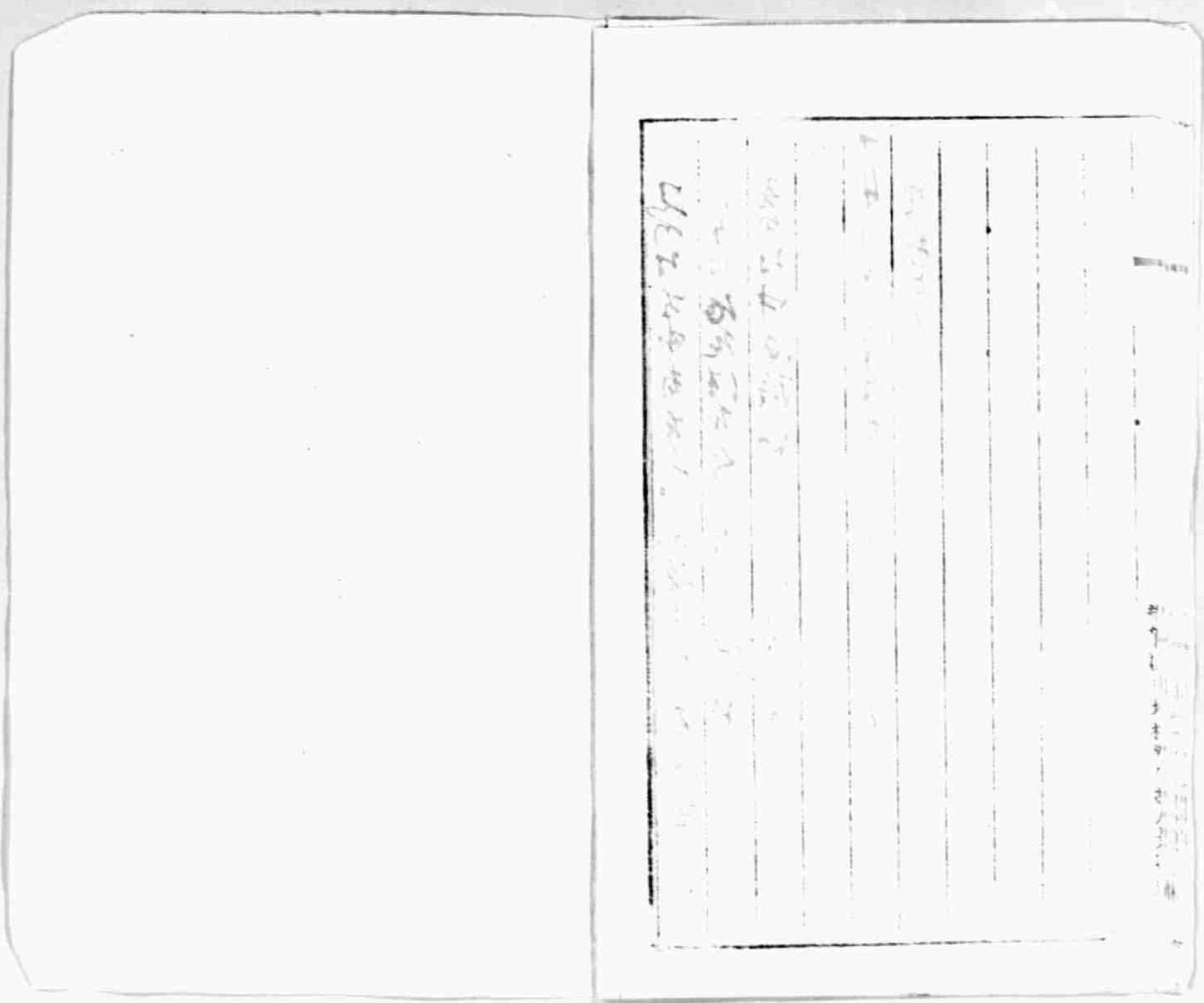
又河村在りてあり。此の所より出立ししに
其の法海ありて 此の所より出立ししに
其の法海ありて 此の所より出立ししに

丁日。此の所より出立ししに其の法海ありて
此の所より出立ししに其の法海ありて

0552

安楽川村文書 II 文書号 072





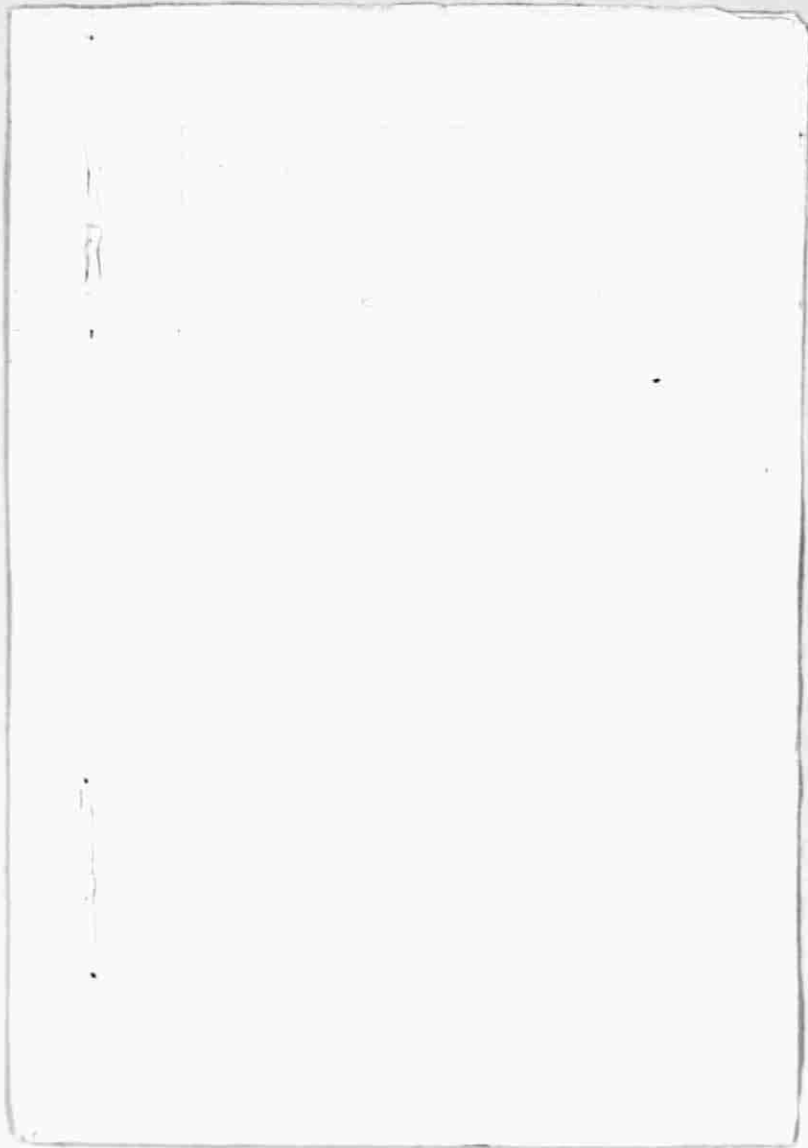
0553

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

072





0554

安楽川村文書Ⅱ 文書
番号

072

